

船島小学校 子ども教室

－ 船島小学校放課後児童クラブとの校内交流型 －

■ 校内交流型の概要

子ども教室は、市内の小学校に通うすべての子供が対象です。地域のボランティアの方々の御協力をいただきながら、児童クラブと連携し、スポーツ、文化活動や工作などの取組を週2～3回程度実施しています。子ども教室と児童クラブを同じ小学校内で実施しており、活動場所は特別教室や体育館です。

■ 特徴的なこと・工夫していること

- ・ 子ども教室への参加は登録制ではなく、毎月募集するため、様々な児童が子ども教室へ参加することができます。
- ・ コーディネーターや指導員は、児童クラブと随時、情報共有を行い、子ども教室に参加した児童クラブ利用の児童は指導員が児童クラブ室まで付き添う等、連携を図っています。

■ 校内交流型で実施するプログラム内容

ドッジボール、ロゼットを作ろう、金管教室等

■ 課題

- ・ 指導員の確保
- ・ ボランティア講師（協働活動リーダー）の高齢化
- ・ 実施場所の確保
- ・ 学校との連携

■ 成果

- ・ 児童クラブ、子ども教室を同じ小学校内で実施することで、児童たちの安全安心な居場所を確保することができます。
- ・ 児童クラブを利用する児童と利用しない児童が、放課後に交流できる場となり、また、全児童に体験する機会を提供することができます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週2～3回

■ 参加人数

約10人／日

■ 主な活動場所

小学校の特別教室、体育館

■ 指導員数

約3～6人／日